

羅針盤

令和2年度 第5号 (通算319号)
令和2年6月29日(月)発行
岡山県総合教育センター 企画部
Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

GIGA スクール構想の 実現と新たな学びの場を

「GIGA スクール構想」が少しずつ進んでいます。GIGA スクール構想とは、「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。

(GIGA=

Global and Innovation Gateway for All)

新学習指導要領への対応の動きの中でも、教育におけるICTを基盤とした先端技術の活用は必須であり、教育の情報化のますますの充実が重要となっています。

これからの変化の激しい時代を生き抜くには、従来の一斉教育だけではなく、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された創造性を育む教育の実現が重要であり、次世代の人材を育てる視点を持つ必要があります。これらを持続的に実現させる構想がGIGA スクール構想です。

今回の「新型コロナウイルス感染症」への対応でも、ICT基盤の整備や休校対策としての遠隔授業等、ICT活用は問題解決に向けた重要な柱となりました。GIGA スクール構想についても早期の実現に向けて計画が前倒しされています。

GIGA スクール構想では、1人1台端末の整備と併せて、学習用ツールと校務のクラウド化を推奨しています。クラウドを用いれば、データやアプリケーションの一部がパソコンの中にあるのではなく、ネットワークでつながった外部のサーバーにあり、端末さえあればどこからでもアクセスすることができます。

児童生徒と教員の1人1台端末の整備と教育クラウドの活用は、新たな学びの場を広げるだけでなく、教師にとっても授業準備等の校務の効率化につながります。働き方改革の視点からも大きく期待されています。子どもたちのためのGIGA スクール構想と思われがちですが、教員の為のGIGA スクール構想でもあります。

GIGA スクール構想によるICTの積極的な活用を通して、児童生徒の新たな学びの場を実現するために、教員個々がしっかりと準備を進めていく必要があります。

今すぐできる ICT!

実物投影機の活用



本体の USB (Mini-B)
端子でパソコンと接続

多くの教室にある実物投影機。電子黒板やマグネットスクリーンに、教科書を大きく映して、教師が分かりやすく説明する今では当たり前の教室の風景です。

実物投影機には他の機能として、パソコンへのUSB接続によるWebカメラとしての使い方ができるものがあります。マイクも内蔵しており、ZOOMやGoogle Meetを使った授業配信や授業動画の撮影に活用することができます。教室にある実物投影機が対応しているか調べてみて、今ある機器の新たな活用を考えてみることも、GIGA スクールの実現につながります。